



現在、新庁舎の「基本設計」を進めています。
 このたび、新庁舎の階層が決まりましたので、その内容とあわせて、本庁舎整備検討市民委員会からの意見の一部をご紹介します。

■新庁舎の階層の比較検討結果

▼ 2階建と3階建の比較表

新庁舎は、現庁舎の南側駐車場に建設するため、次の2点に配慮する必要があります。

- ①新庁舎の影が市民文化センターにかからないようにしなければならない。(詳細は、裏面のとおり)
- ②消防庁舎前の活動スペース(西側)を十分確保する必要があります。

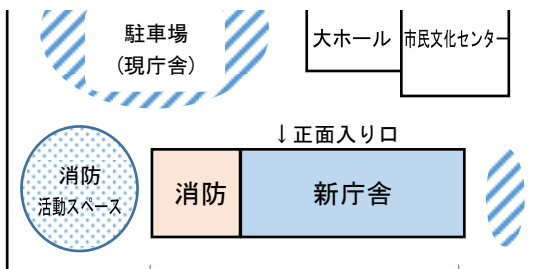
そのため、新庁舎の形状は、下の図のように**東西方向に伸びる長方形のようなイメージ**になります。

2階建と3階建の比較・判断を行う中で特に重視した項目を右表のとおりまとめました。

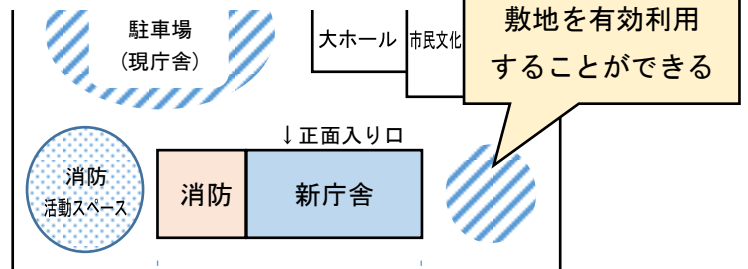
検討の結果、『**3階建**』で改築することで基本設計を進めることにしました。

	2階建	3階建 (一部3階)
コスト比較	3階案と比較し、延べ床面積は小さくすることができるが、建築面積は大きくなるため、建築費に差は無し。	①2階案と比較し、延べ床面積は大きくなるが、建築面積は小さくなるため、建築費に差は無し。 ②外気に直接面する壁・屋根の面積が小さく、暖房費等を節減できる。
配置・規模の比較	敷地が手狭となり、利便性に欠ける。	①敷地を十分確保できる。 ②附属建物が設置可能である。
建物機能の比較	市民文化センター側への日影規制上の制約がなく、天井を高くすることができる。	市民・行政・議会の動線が分離でき、利用しやすい。

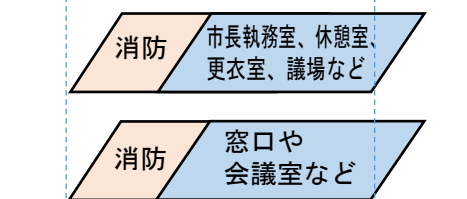
▼ 2階建のイメージ



▼ 3階建 (一部3階) のイメージ

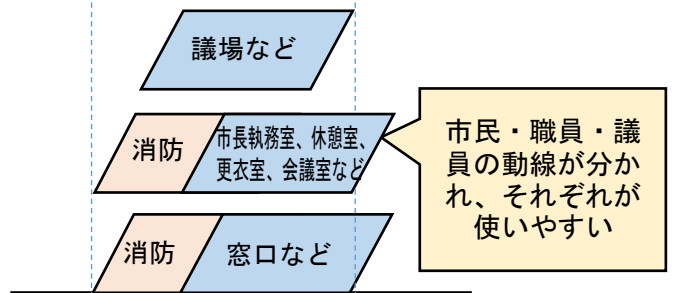


3階 (一部3階)



2階

1階



■本庁舎整備検討市民委員会の主な意見

主なものを掲載しています。意見を参考に、使いやすく、親しまれる庁舎をめざします。

- ①1階に窓口機能を集約してほしい。
- ②人口減少を見据えてコンパクトな建物にしてほしい。
- ③正面入り口と駐車場の配置は、利便性を考えてほしい。
- ④2階に議場があったほうが、議会が市民にとって身近なものになるのでは？



庁舎整備 Q&A ~皆さんの疑問にお答えします~

なぜ、新庁舎と市民文化センターを接続しないの？

現在の庁舎は、市民文化センターと建物が接続しており、「相談や手続のための市役所の利用」と「イベントや食事のための市民文化センターの利用」の中で相互の流れが生まれ、市民文化センターと接続していることが「市役所を身近に感じられるメリット」となっていました。

また、士別市本庁舎整備基本計画（案）について、平成 28 年 1 月から 2 月にかけてパブリックコメントや市民説明会を実施したところ、「防災拠点としての機能を考えたときに、新庁舎と市民文化センターを接続したほうが良いのでは？」「新庁舎の入口が北向きでは暗いイメージになるので、市民文化センターの南側に、西向きの庁舎を建てては？」など、市民文化センターと接続して整備できないかとのご意見を多くいただきました。

そのような中で、庁舎の改築にあたり、**新庁舎と市民文化センターを分離し、表面のように東西方向に伸びる長方形のようなイメージとした理由は、次のとおりです。**

大ホールの大規模改修

新庁舎と市民文化センターを接続して整備する場合、庁舎改築は市民文化センター・大ホールの「増築」扱いとなります。「増築」のためには、法律上、耐震性能が現行基準に適合していなければならない、大ホールの大規模な改修が必要になります。

敷地分離と日影規制

新庁舎と市民文化センターを分離して建てる場合、これらは用途の異なる 2 つの建物であるため、法律上、敷地を分けなければなりません（車庫などの附属建物を除く。）。**敷地分割により、「日影規制」（法律上の規制であり、日当たりを確保する権利、いわゆる「日照権」とは別の考え方です。）の適用を受けることから、新庁舎を市民文化センター南側ギリギリに建てることはできません。**

庁舎改築にあたっては、新庁舎～市民文化センター間の人の流れや駐車場の配置などを含め、市民が利用しやすく、市民に親しまれる庁舎となるよう、検討を進めていきます。なお、市民文化センター・大ホールについては、平成 26 年度から進めている公共施設マネジメント計画や次期総合計画策定の取り組みの中で、他の公共施設も含め方向性を検討しています。



【問合せ先】 総務部新庁舎準備室（内線 2203）